

# 2014年3月期 第3四半期決算について

2014年2月10日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165)

# 第3四半期 決算ハイライト

自動車関連の好調堅持や、家電・精密機器の復調傾向に加え、PIMグループ(パンサー社子会社化)の新規連結もあり、売上、利益ともに前年同期を上回り、年間業績予想に対しても着実に進捗。

売上	連結	連結売上高は、前年同期比115%、28億円増収の214億円となった。
	日本	自動車関連の堅調、家電・精密機器の回復に加え、注力している飲料関連等の新規分野の伸長もあり前年同期をクリア出来た。
	中国	日本同様、自動車関連の牽引力や戦略製品での拡販に加えて、人民元高による為替影響もあったため、前年同期を大きく上回った。
	その他	欧米及びインドの拡大とPIMグループの取込みにより大きく数字を伸ばすことが出来た。

利益	売上増に加え、国内工場稼働率アップによる原価率低減及び収益体質改革活動の成果もあり、営業利益は前年同期比2.7億円増の8.3億円となった。 同様に、経常利益、四半期純利益も前年実績を大きくクリア出来た。
----	--

ネット資金	前期末から13億円の減少となったが、M&A資金を考慮すると、実質は、期首より約2億円の改善。
-------	--

(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
第3四半期累計期間 実績	21,412	831	724	472
年間業績予想(2013/10/25公表)	28,023	1,045	839	580

## 第3四半期 決算概況

売上および段階利益ともに、前年を大きくクリア！中期経営計画（バリュークリエーション15）で掲げた経営課題へも積極的に取組み、収益体質の改革も進展してきた。

（単位：百万円）

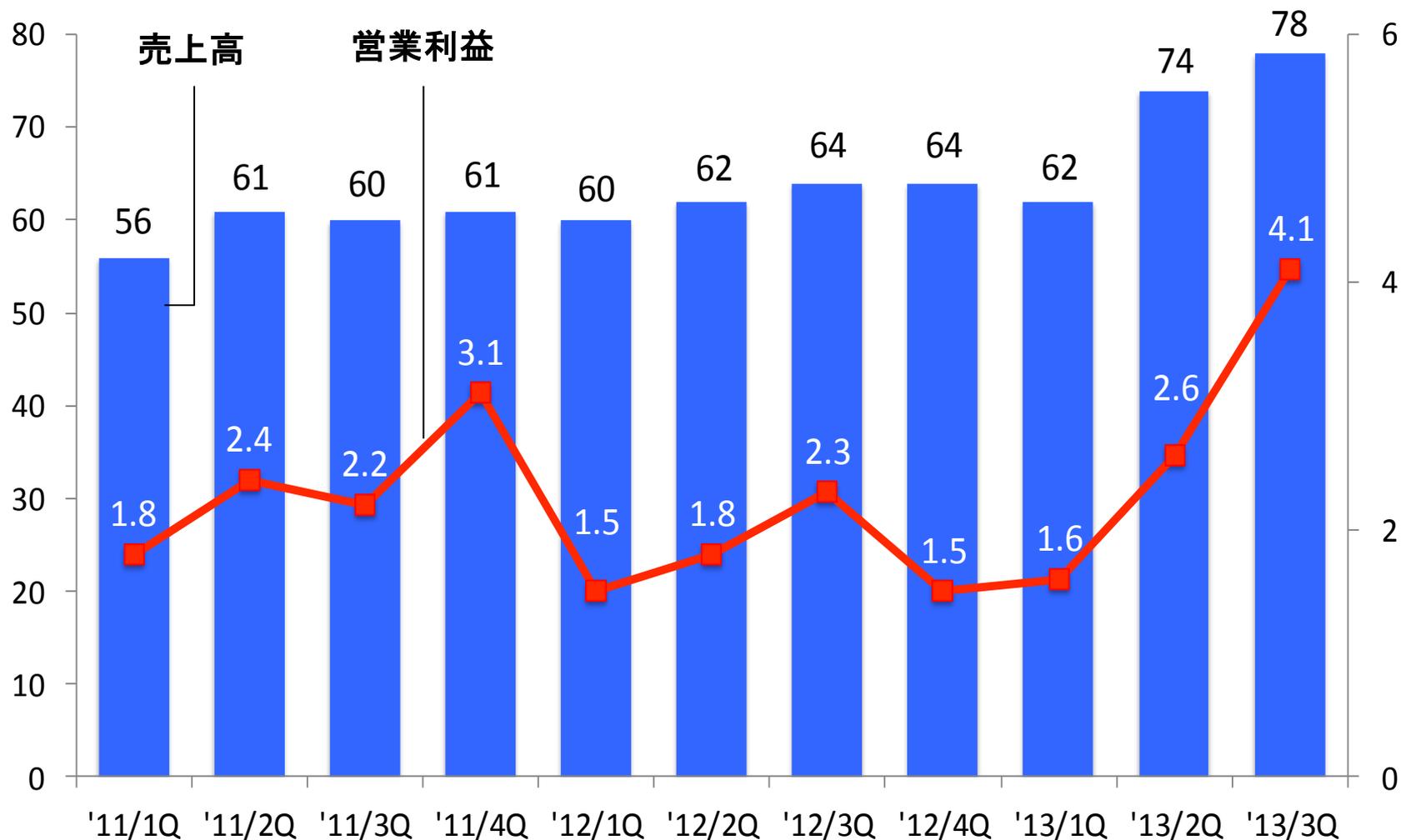
	2013年3月期 第3四半期累計		2014年3月期 第3四半期累計		前年同期差	前年同期比
売上高		18,660		21,412	2,752	114.7%
営業利益	3.0%	561	3.9%	831	270	148.2%
経常利益	2.9%	534	3.4%	724	190	135.6%
四半期純利益	1.8%	332	2.2%	472	139	141.9%

# 売上高と営業利益の推移

(売上高:億円)

四半期ベースでは、売上、営業利益ともに直近3期の最高水準！

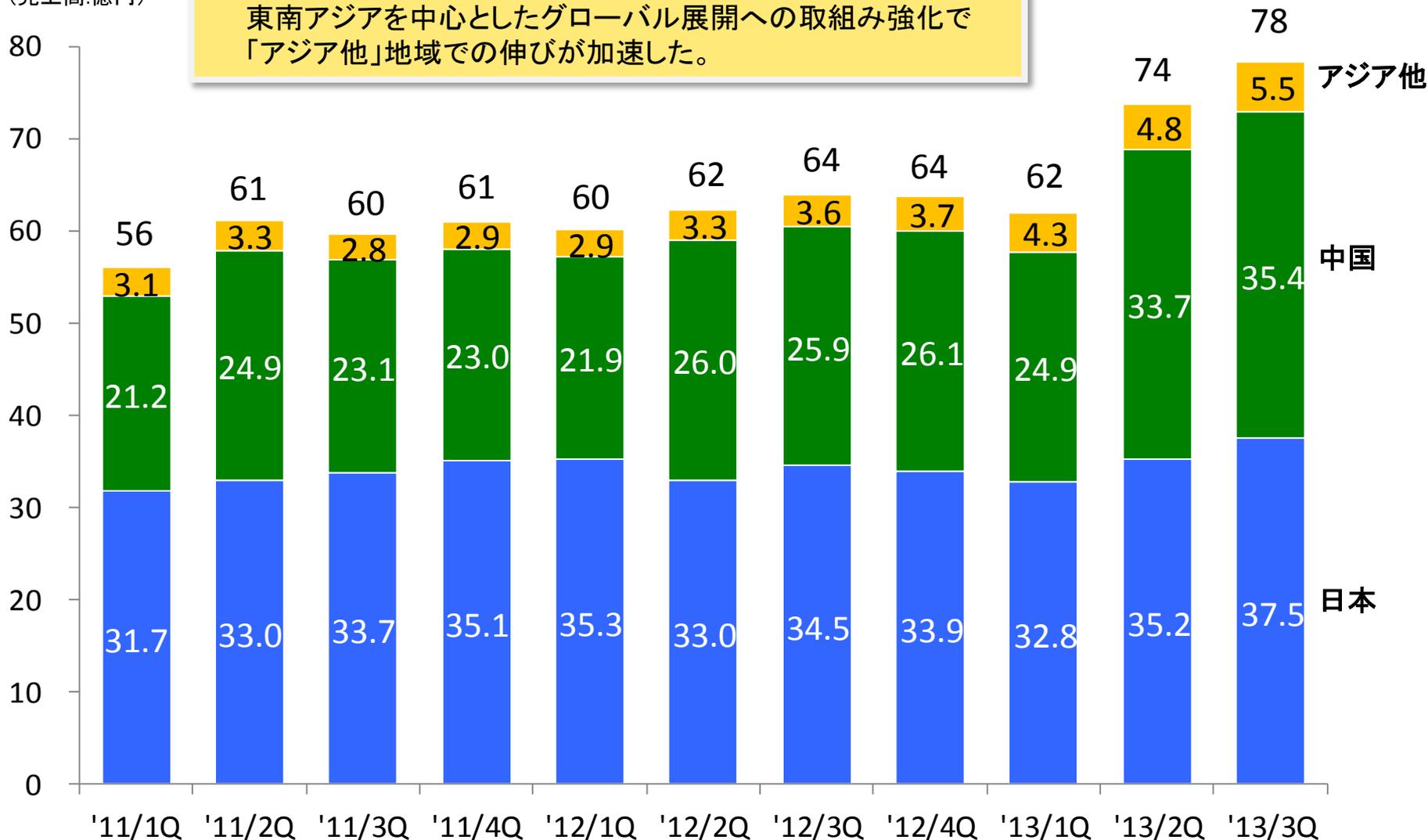
(営業利益:億円)



# 地域別売上高

(売上高:億円)

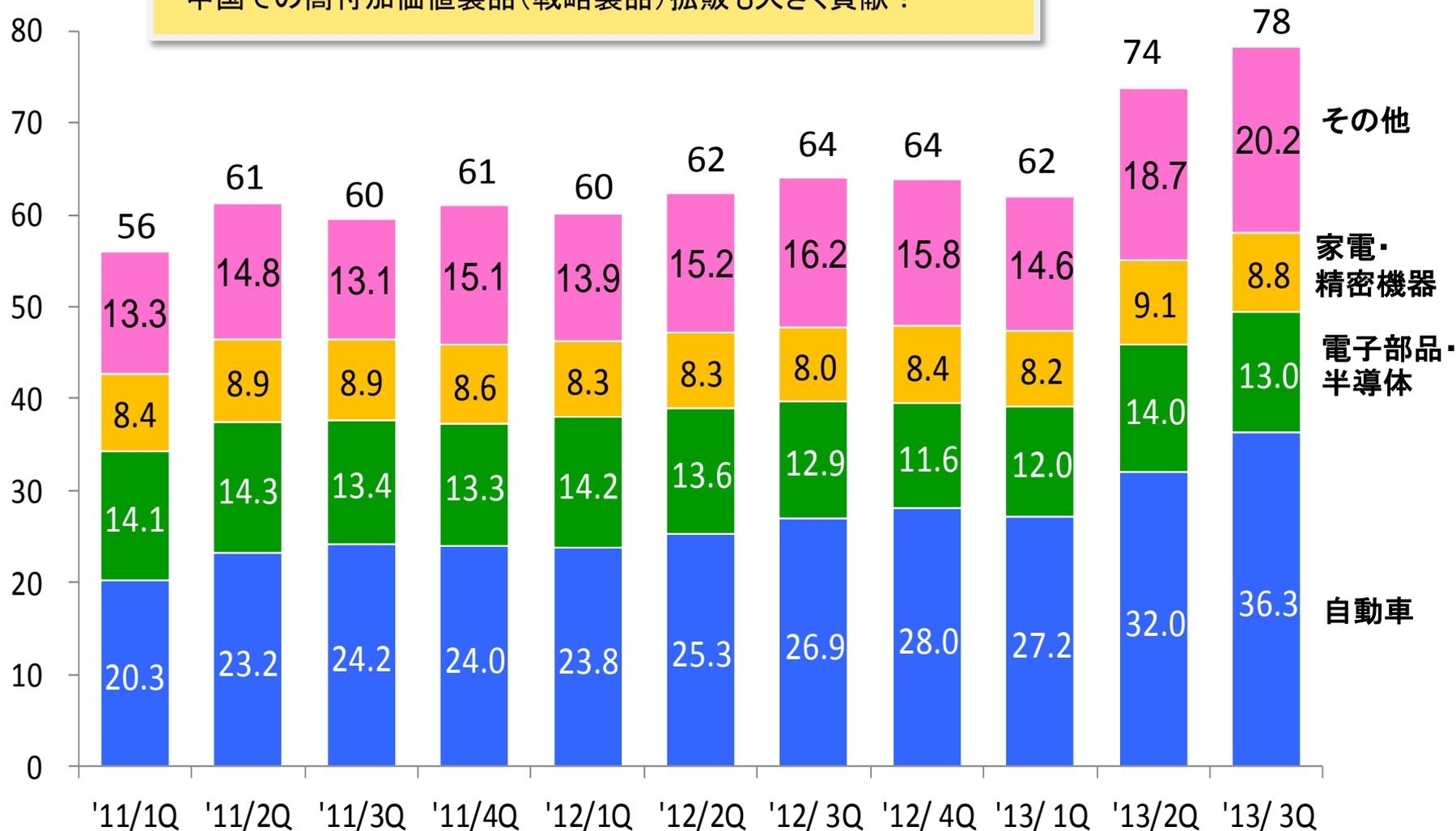
四半期ベースでは、各地域ともに直近3期の最高水準！  
東南アジアを中心としたグローバル展開への取組み強化で  
「アジア他」地域での伸びが加速した。



# 業種別売上高

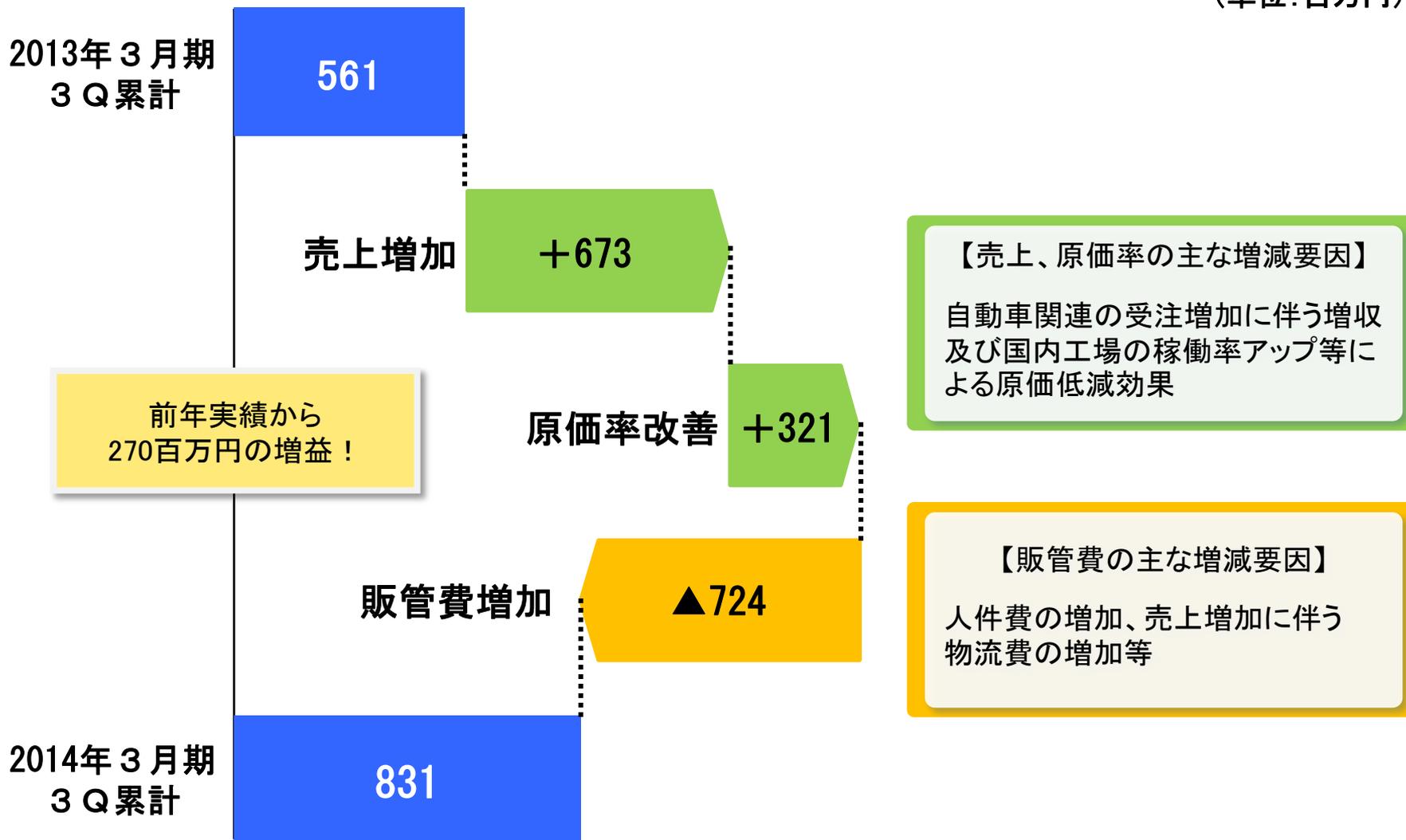
(売上高:億円)

自動車関連の牽引力は大きいですが、加えて飲料関連での拡がりや中国での高付加価値製品(戦略製品)拡販も大きく貢献！



# 営業利益増減(連結)

(単位:百万円)



# 財務状況

(単位:百万円)

	2013年3月期末	2014年3月期 第3四半期累計	比較増減
総資産	20,573	24,494	3,920
総負債	14,847	17,780	2,933
うち有利子負債	8,953	10,813	1,859
純資産	5,726	6,713	987
ネット資金	▲7,212	▲8,593	▲1,381
自己資本比率	27.8%	27.4%	▲0.4ポイント

	2013年3月期 第3四半期累計	2014年3月期 第3四半期累計	比較増減
自己資本利益率(ROE)	7.0	7.6	0.6ポイント
設備投資額(無形固定資産含む)	838	451	▲386
減価償却費(無形固定資産含む)	790	863	72

# 2014年3月期 業績予想概況及び配当

(単位:百万円)

	2013年3月期 (実績)		2014年3月期		
			修正予想 (10/25公表)	第3四半期 累計	進捗率
売上高	25,041		28,023	21,412	76.4%
営業利益	2.8% 707		3.7% 1,045	3.9% 831	79.5%
経常利益	3.3% 822		3.0% 839	3.4% 724	86.3%
当期純利益	0.9% 213		2.1% 580	2.2% 472	81.4%

2014年3月期  
配当予想

中間 7円50銭 + 期末 7円50銭 = 15円00銭

# 参考資料

# 会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都港区港南二丁目12番23号
設立	1975年3月
資本金	6億7,420万円
従業員数	3,746名(グループ連結、2013年12月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起弹簧(大連)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD.(マレーシア・クアラルンプール)※ PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア)

※PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD. は、PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.に事業を移管したため、清算手続中でありませす。

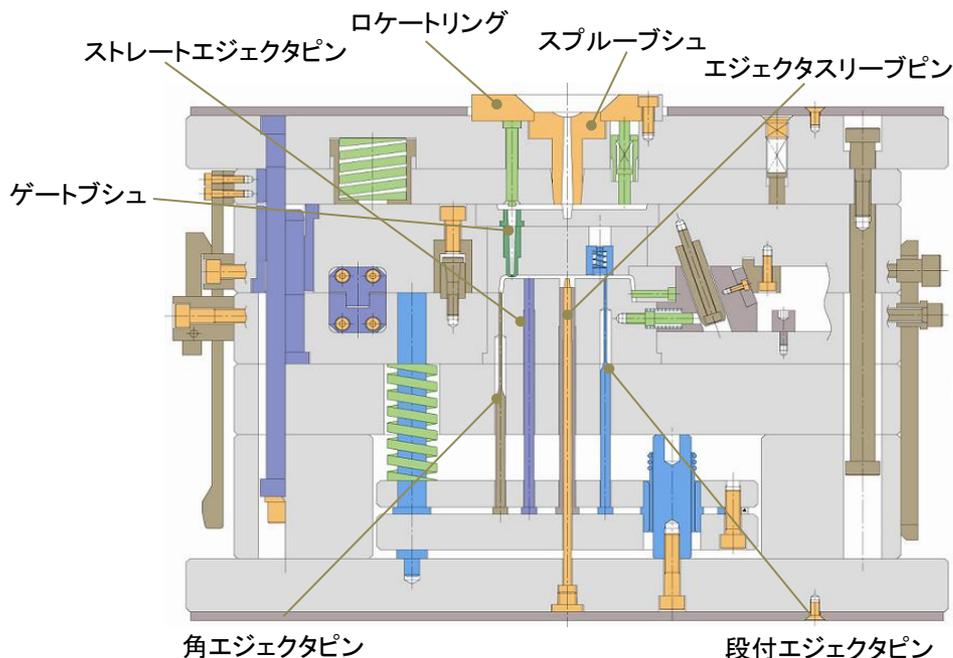
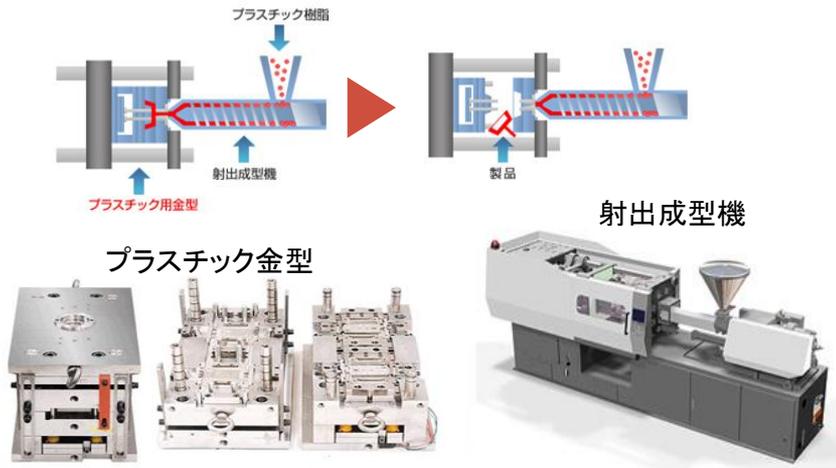
# 沿革

1975年	創業、プリント基板用穴あけピン製造
1982年	プラスチック金型用部品に進出(ハイスエジェクタピンの量産化に成功)
1983年	金型用部品の全国販売を開始 北上工場設置
1989年	宮古パンチ工業(現 宮古工場)設立 プレス金型用部品に進出
1990年	中国大連に製造拠点設立
2001年	中国に販売拠点設置
2002年	中国国内での金型用部品販売を開始
2010年	インドに販売拠点設立
2011年	兵庫工場設置 インド国内での金型用部品販売を開始
2012年	パンサー社(マレーシア)と資本業務提携 株式上場
2013年	中国重慶に生産物流拠点設置 パンサー社グループを完全子会社化 インドネシアに合弁会社設立

金型部品業界でのトップブランドを確立し  
製販一体企業としての優位性を活かした  
高収益企業を目指す



# プラスチック金型と金型用部品



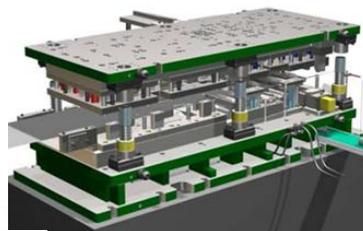
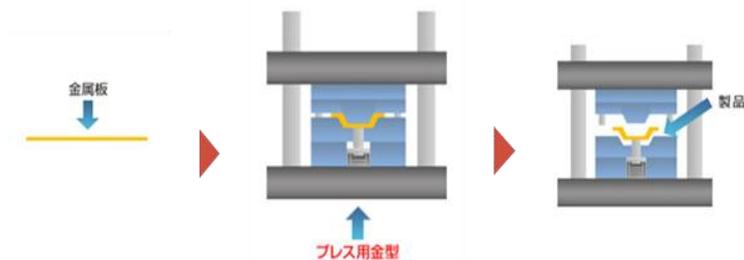
## ●プラスチック金型用部品について

プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られております。

当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スプルーブシュ、ゲートブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

- エジェクタピン……成型品を金型から離し、突き出すための部品
- スプルーブシュ……射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品
- ゲートブシュ……スプルーブシュから金型内の製品部にプラスチックを流す部分であり、成型後、金型を開く時にこの部分から製品部を切り離すための部品

# プレス金型と金型用部品



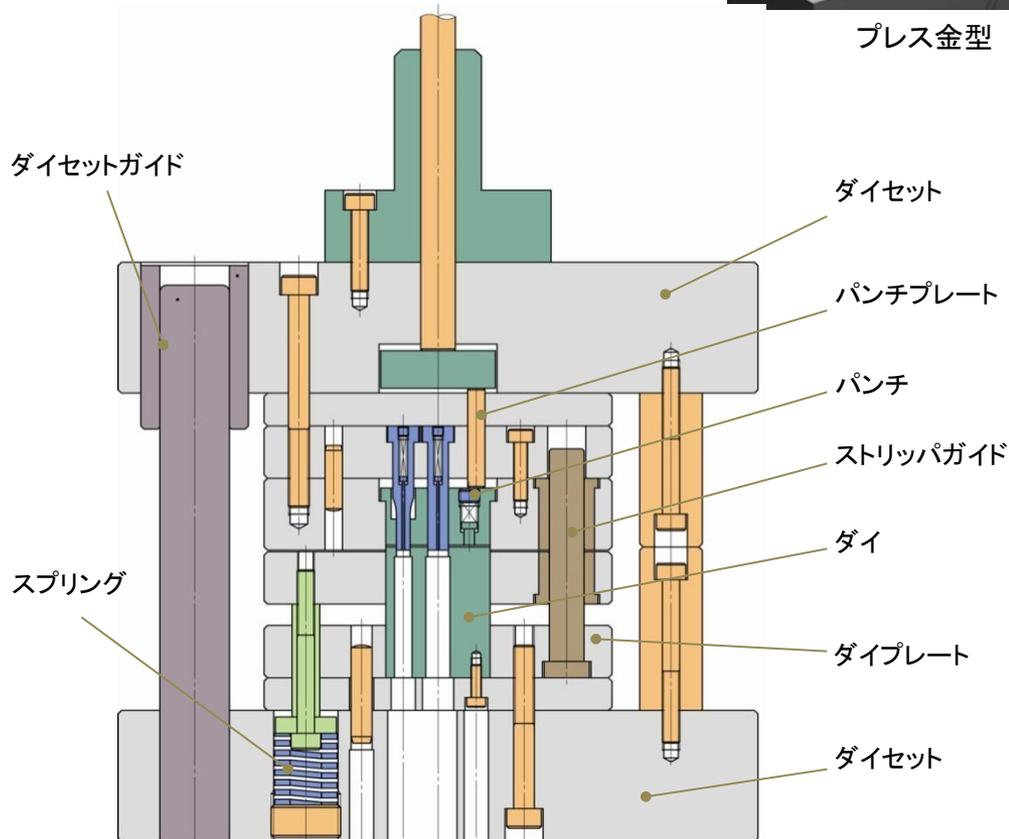
プレス金型



パンチ



ストリッパガイド



## ●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機（上下運動する機械）に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料（金属の鋼板）を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用される金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

パンチ……………パンチは材料に押しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使用され、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品

ダイセットガイド………上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品

ストリッパガイド………パンチ・ダイの関係をダイセットのガイドを用いて位置合わせをして、適正なクリアランスを保つために使用する部品

# 事業内容

工程設計、材料調達から出荷まで一貫した生産体制が強み

## 特注品製造工程

工程設計

材料

切削加工

熱処理

研削加工

放電加工

表面処理

完成検査  
(全量)

出荷  
7~14日

お客様

一貫通貫の生産体制

お客様

材料

熱処理

切断加工

鍛造加工

ブランク材  
(在庫)

研削加工

表面処理

完成検査  
(全量)

出荷  
通常3日

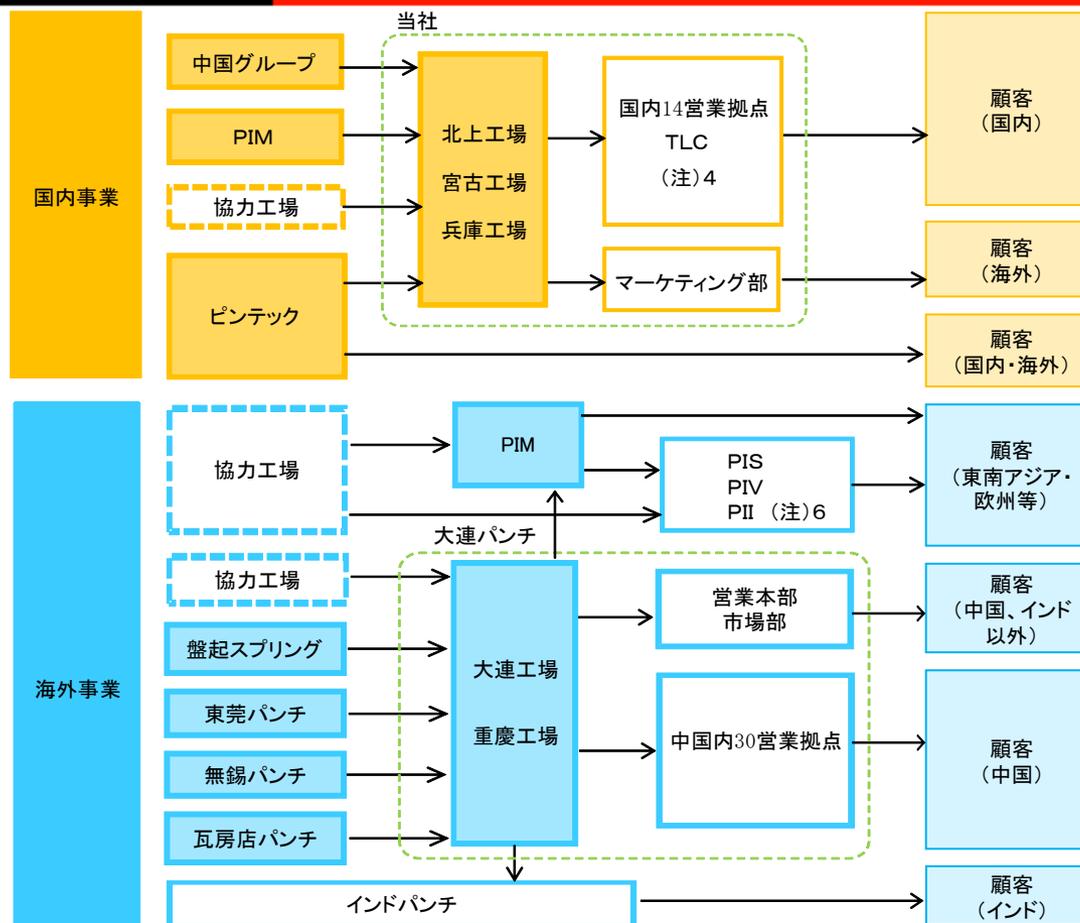
## 標準品製造工程

# 当社及びグループ各社の機能と役割

	会社名	略称	機能と役割
国内事業	パンチ工業株式会社(当社)	—	グループ統括機能。 国内3工場、ピンテック、中国グループ各社、PIMで製造した製品と、協力工場で製造した製品等を、主として国内へ販売。
	株式会社ピンテック	ピンテック	主として当社向けの製品を製造、販売する一方、ピンテック独自のプリント基板金型用精密部品を製造し、国内外へ販売。
海外事業	盤起工業(大連)有限公司	大連パンチ	中国グループ統括機能。 傘下4社からの仕入れも含め、製造した製品、半製品、及び協力工場にて製造した製品等を、主として中国国内及び当社に販売。
	盤起工業(瓦房店)有限公司	瓦房店パンチ	主として大連パンチ及び当社向けの製品等を製造、販売。
	盤起工業(無錫)有限公司	無錫パンチ	主として大連パンチ向けの製品等を製造、販売。
	盤起工業(東莞)有限公司	東莞パンチ	主として大連パンチ向けの製品等を製造、販売。
	盤起弹簧(大連)有限公司	盤起スプリング	主として大連パンチ向けの製品等を製造、販売。
	PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.	インドパンチ	主として大連パンチ製品等をインド国内へ販売。
	PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.	PIM	東南アジアグループ統括機能。 自社及び中国グループ等で製造した製品と協力工場で製造した製品を、主として当社、欧州、東南アジアへ販売。
	PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD.	PIK	PIMに事業を移管したため、清算手続中。
	PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.	PIS	PIM等で製造した製品と協力工場で製造した製品を主としてシンガポール国内へ販売。
	PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.	PIV	PIM等で製造した製品と協力工場で製造した製品を主としてベトナム国内へ販売。
PT PUNCH INDUSTRY INDONESIA	PII	PIM等で製造した製品と協力工場で製造した製品を主としてインドネシア国内へ販売予定。	

- (注)
- 国内事業とは、当社及びピンテックの事業を、海外事業とは、大連パンチ以下11社の事業を意味しております。
  - 中国グループとは、大連パンチ及び傘下4社(瓦房店パンチ、無錫パンチ、東莞パンチ、盤起スプリング)の総称であります。
  - 東南アジアグループとは、PIM及び傘下4社(PIK、PIS、PIV、PII)の総称であります。
  - PIIは2013年11月に新規設立しております。当初、2014年1月事業開始予定でしたが、現在輸入ライセンス取得手続中のため、当該手続が完了次第、事業開始予定であります。

# 事業系統図



- (注) 1.   は当社グループの社内生産部門を示しております。
2.   は当社グループの社外生産部門を示しております。
3.   は製品等の流れを示しております。
4. TLCは当社国内物流センターである東京ロジスティクスセンターの略称であります。
5. PIKは PANTHER PRECISION TOOLS SDN. BHD. (PIM)に事業を移管したため、清算手続中であります。
6. PIIは2013年11月に新規設立しております。当初、2014年1月事業開始予定でしたが、現在輸入ライセンス取得手続中のため、当該手続が完了次第、事業開始予定であります。

# 本日はありがとうございました。

## IRに関するお問い合わせ先

パンチ工業株式会社 総務部コーポレート課  
電話：03-5460-8237 e-mail: info-corp@punch.co.jp



### 将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。